

カナダ -政策金利を据え置き-

＜政策金利を0.50%に据え置き＞

9月9日、カナダ中央銀行は政策金利を0.50%に据え置くことを決定しました。

声明文では「7月の予想通り、インフレ率はエネルギー製品価格の下落により目標レンジの下限で推移している。また、コアインフレ率は経済低迷によるディスインフレ圧力をこれまでのカナダドル安などが相殺し、2%近辺で推移している」としています。

カナダ経済についても7月の見通し通り推移しており、これまでに実施した利下げの効果が見え始めているとしています。底堅い家計消費や米国経済の回復がカナダ経済を下支えしており、最近のデータでは為替感応度の高い輸出がモメンタムを取り戻し始めていると指摘しています。

＜カナダドルはほぼ横ばい＞

中国経済に対する警戒感などから、世界的に株価が下落し、為替市場ではリスク回避的な動きが進みました。円が買われる一方で資源国通貨が売られ、カナダドルも下落しました。

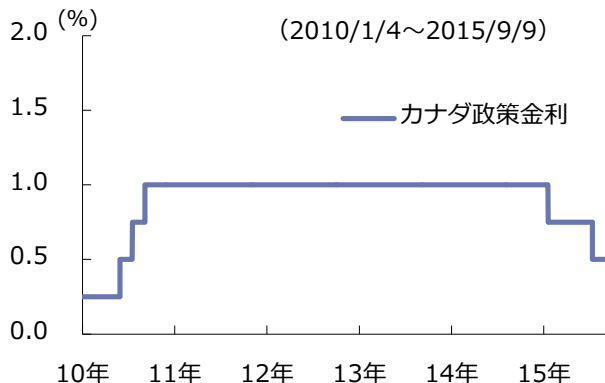
政策金利据え置きは市場予想通りでした。発表後にカナダドルは若干上昇する場面もありましたが、その後は前日比ほぼ横ばいの水準で推移しています。9月9日の海外終値は、1米ドル=1.326カナダドル、1カナダドル=90.87円となっています。

＜今後の見通し＞

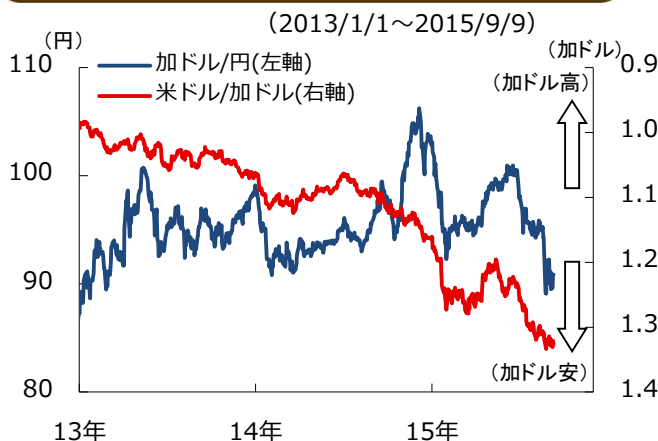
原油価格が1バレル=40米ドル台で推移するなど資源価格が低迷しており、エネルギー産業の業績回復には時間がかかると予想されます。しかし、最大の貿易相手国である米国経済の回復とこれまでのカナダドル安による非エネルギー産業の輸出拡大や、利下げによる国内景気刺激策などにより、今後、カナダ経済は緩やかに回復すると見込まれます。

世界的な景気減速懸念が高まり、米国の利上げ後ずれの見方も広がっています。しかし、米国の経済指標は好調なものも多く、これまでの予想通り年内での利上げ実施が見込まれます。米国の利上げ観測から、カナダドルは対米ドルでは弱含むと見込まれますが、日銀の金融緩和姿勢が継続されることから円安米ドル高傾向が続くため、対円では強含んで推移すると予想します。

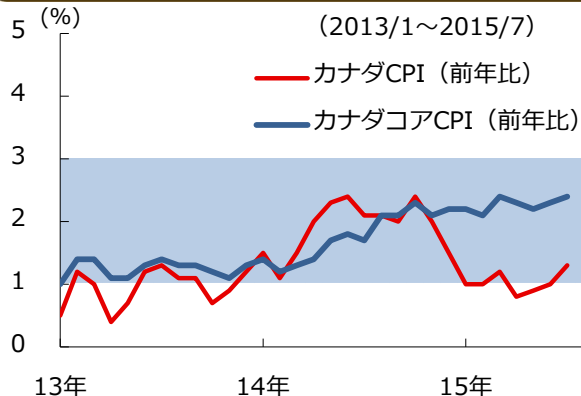
＜政策金利の推移＞



＜カナダドルの推移＞



＜消費者物価指数＞



※網掛けは中央銀行の政策目標

出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 ： 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会